

様式第2号

事業計画書（提案の概要）

募集施設の名称	慶雲館
---------	-----

申請者	所在地	滋賀県長浜市北船町3-24 えきまちテラス長浜
	団体名	公益社団法人長浜観光協会
	代表者氏名	会長 岸本一郎

指定管理料提案額	令和4年度	8,912,000円
	令和5年度	8,912,000円
	令和6年度	8,912,000円
	令和7年度	8,912,000円
	令和8年度	8,912,000円

1 管理運営についての基本方針等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の管理運営についての基本方針	<p>重要な歴史的背景をもつ慶雲館は、長浜を代表する文化的資源であり、後世にその価値を伝承すべき施設です。この文化的施設を市民に周知すること、さらに磨きをかけて観光客に供することは、長浜の文化観光事業として重要です。そのため、下記のことを基本方針として管理運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8年間に渡る慶雲館の指定管理業務を受託しており、その経験を活かした文化的価値の向上と、来館者の満足度向上を高める管理運営に努めます。 ・新型コロナウイルス感染症により、今後の旅行は「安心・安全な行先の選択」がテーマになってくると考えます。そのため、社会情勢を鑑み、安心・安全に配慮した管理運営に努めます。
(2) 指定管理者を希望する理由・目的	<p>慶雲館を代表する催事である「長浜盆梅展」の開催のため、専門の職員を2名雇用し、年間通じて盆梅の管理育成を行っています。20年以上にわたる管理経験の技術や、様々な外部団体とのネットワークを通して、さらなる盆梅展の魅力向上に努めていきます。また、歴史的な関係性をもつ「慶雲館」と「鉄道スクエア」の両施設を管理することで、連携した企画展などを開催することができ、相乗効果が得られることなどから、指定管理業務を希望します。</p>
(3) 施設の課題とその対応	<p>長浜盆梅展は、長浜を代表する催事です。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大きく来館者が減少しています。</p> <p>今後の旅行スタイルは、団体から個人へ移行し、若年層が好む魅力的な行先が求められると考えられます。そのため、個人旅行者の誘致を目的に、大学や芸術家とのコラボレーションや、本館の一部レイアウトを変更するなど趣向を凝らした演出を手掛けています。今後も時代にあった展示や、SNSを通じての集客など若年層を中心に誘客を図</p>

	ります。また、施設や盆梅を活用した体験講座を企画し、滞在時間の延伸を図るとともに、より質の高い観光への移行を図ります。
--	---

2 組織体制・職員配置等【審査基準：条例第4条第4号】

(1) 管理運営の組織体制	事業計画書のとおり
(2) 管理運営に係る職員配置及び今後の採用計画	
(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等	

他施設でのイベントやおもてなしを視察することで満足度の向上や、梅や盆栽に精通する関係講座を受講することで技術の向上に努めます。

3 利用促進等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特色を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標	<p>年間を通じて企画展を実施及び貸館など様々な情報を、公式ホームページや公式SNSを通じて情報発信を行います。この情報発信から、利用促進に繋がっていきます。</p> <p>■慶雲館について</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年に慶雲館や長浜の歴史を振り返る「140周年記念企画展」を開催します。 四季折々の盆栽や花などの企画展を開催します。 慶雲館の庭園を作庭した七代目小川治兵衛の繋がりから、京都の無鄰庵、平安神宮神苑、円山公園などの観光施設と連携を図り、企画展やキャンペーン等を実施します。 明治時代に建てられた歴史的文化建造物である慶雲館本館で、会議やイベント、レセプションなどのユニークベニューを開催して、認知度の向上を図ります。 施設貸館の活用方法を写真入りで紹介し、利用率の向上を図ります。また、公式SNSを活用し、ユーザーに直接届く情報発信に努めます。 市内外のフォトスタジオや結婚式場などへの営業活動を行い、利用率の向上を図ります。また、前撮りに限らず、七五三や成人式などの記念撮影での貸館利用の向上に努めます。 <p>■盆梅展について</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間通じた盆梅管理の体験講座を企画し、滞在時間の延伸や、年間通じた盆梅展の情報発信を行います。 市内宿泊施設や黒壁スクエアなど人が集まる場所に、盆梅を展示します。長浜盆梅展を認知していない観光客に盆梅に興味を持っていただき、新規観光客の誘致に繋がります。 近年は、盆梅展期間中に「大阪天満宮」、「大阪万博公園」、「ここ滋賀」などで出張展示を行っています。今後も引き続き、集客が見込める場所での出張展示を継続します。 報道関係者や旅行会社に積極的に情報発信や営業活動を行い、長浜盆
--	---

	<p>梅展の認知度の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学や芸術家等と連携し、趣向を凝らした盆梅展の展示方法を検討し、魅力度の向上に努めていきます。 ・盆梅展期間中には、俳句イベントやフォトコンテスト、盆梅づくり体験など様々な催しを企画し、満足度の向上に努めます。 ・期間を通し、複数回来場希望の方を対象とした「回数券」及び「フリーパス」などを販売することで、来館促進に繋がります。 ・市民の方を対象とした無料券を配布することで、市民に親しみをもってもらい、長浜盆梅展の認知度向上に努めます。 ・令和3年度から盆梅展会場の観光物産販売を当会で直接管理することとなり、お茶席と物産エリアを一体化することで、満足度の向上に繋がります。
<p>(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策</p>	<p>■慶雲館通年公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会会員や市内の団体と連携し、企画展の開催やユニークメニューの展開など、地域の情報発信拠点にしていきます。 <p>■盆梅展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会を通じて、地元小学生や中学生を対象にした講座を開催することで、盆梅の魅力を次世代に伝えます。また、地域の方々や地元ボランティアガイドにも魅力を伝える講座を実施します。
<p>(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組</p>	<p>■慶雲館通年公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式ホームページや公式SNSをさらに活用し、企画展など多くの情報を発信します。 ・本会は、浪漫バスポート事業を運営しており、バスポート参画施設との連携が図りやすいと考えています。その点を活かして、市内観光施設と連携した企画展を開催し、情報発信に繋がります。 <p>■盆梅展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在運営している盆梅展の公式ホームページや公式SNSをさらに活用することや、市内観光施設・宿泊施設・飲食店など観光事業に精通した会員と連携して情報発信や観光PRに努めます。 ・年間通じた盆梅管理体験を企画し、参加者を中心とした盆梅友の会の結成を目指します。 ・長浜市やびわこデジタルズビューローなど関係団体と連携を図ります。 ・ポスターやのぼり旗などのアナログツールからデジタルサイネージやYouTubeなどのデジタルツールを活用したPRを実施し、認知度の向上に努めます。 ・地元新聞社をはじめ、ウェブ媒体やメディアへの情報提供をおこない、宣伝活動を行います。また、効果のある有料広告掲載について検討します。

<p>(4) 他の観光施設と連携した取組の予定があれば提示してください。</p>	<p>慶雲館の向かいに建つ「長浜鉄道スクエア」は、慶雲館と歴史的な繋がりを持つ施設であり、本会が指定管理業務を受託しています。2館の共同企画展を実施し、両施設の相乗効果を図ります。</p> <p>また、盆梅展開催時期には、来場者が多く見込める「大阪万博記念公園」や「北野天満宮」で盆梅を展示することで、京阪神地域でのPR活動に繋がります。</p>
--	---

4 サービス向上等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

<p>(1) 利用者等からのニーズの把握方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート箱を慶雲館会場に設置し、来館者の分析やニーズの把握に努めます。 ・黒壁スクエアなど観光客が多い場所でのアンケートを実施することでニーズの把握に努めます。
<p>(2) 利用者等からの苦情等に対する対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発生時点で、苦情の大小にかかわらずお話を伺い、速やかかつ丁寧に説明し、理解を得られるようにします。苦情対応後は、本会で情報共有し、改善点すべきことは早急に対応するほか、再発防止に努めます。
<p>(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを基に本会で協議し、改善に努めます。 ・他施設での展示状況や接客対応などを視察し、サービスの向上に努めます。

5 施設の管理運営等【審査基準：条例第4条第3号及び第4号】

<p>(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・照明やエアコンなどは、必要最低限の使用に抑え、消費電力の削減に努めます。 ・ペーパーレスによる経費削減を行います。 ・照明や展示に使用するスポットライトを、計画的にLEDに切り替えることで電気代の節減に繋がります。 																																																																										
<p>(2) 利用料金の設定及び設定根拠</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">区分</th> <th>単位</th> <th>観覧料及び使用料</th> <th>利用料金(案)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">観 覧 料</td> <td rowspan="2">慶 雲 館</td> <td rowspan="2">個人</td> <td>一般</td> <td>1人</td> <td>300円</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>小中学生</td> <td>1人</td> <td>150円</td> <td>150円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(20人以上)</td> <td>一般</td> <td>1人</td> <td>240円</td> <td>240円</td> </tr> <tr> <td>小中学生</td> <td>1人</td> <td>120円</td> <td>120円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">盆 梅 展</td> <td rowspan="2">個人</td> <td>一般</td> <td>1人</td> <td>800円</td> <td>800円</td> </tr> <tr> <td>小中学生</td> <td>1人</td> <td>400円</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(15人以上)</td> <td>一般</td> <td>1人</td> <td>640円</td> <td>640円</td> </tr> <tr> <td>小中学生</td> <td>1人</td> <td>360円</td> <td>360円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">使 用 料</td> <td colspan="2">茶室</td> <td>1時間</td> <td>700円</td> <td>700円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1階</td> <td>展示室</td> <td>1時間</td> <td>1,800円</td> <td>1,800円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>1時間</td> <td>500円</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2階</td> <td>研修室</td> <td>1時間</td> <td>350円</td> <td>350円</td> </tr> <tr> <td>展示室</td> <td>1時間</td> <td>1,400円</td> <td>1,400円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">全館</td> <td>1時間</td> <td>4,000円</td> <td>4,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※長浜市条例に基づきます。</p>	区分			単位	観覧料及び使用料	利用料金(案)	観 覧 料	慶 雲 館	個人	一般	1人	300円	300円	小中学生	1人	150円	150円	(20人以上)	一般	1人	240円	240円	小中学生	1人	120円	120円	盆 梅 展	個人	一般	1人	800円	800円	小中学生	1人	400円	400円	(15人以上)	一般	1人	640円	640円	小中学生	1人	360円	360円	使 用 料	茶室		1時間	700円	700円	1階	展示室	1時間	1,800円	1,800円	会議室	1時間	500円	500円	2階	研修室	1時間	350円	350円	展示室	1時間	1,400円	1,400円	全館		1時間	4,000円	4,000円
区分			単位	観覧料及び使用料	利用料金(案)																																																																						
観 覧 料	慶 雲 館	個人	一般	1人	300円	300円																																																																					
			小中学生	1人	150円	150円																																																																					
	(20人以上)	一般	1人	240円	240円																																																																						
		小中学生	1人	120円	120円																																																																						
盆 梅 展	個人	一般	1人	800円	800円																																																																						
		小中学生	1人	400円	400円																																																																						
	(15人以上)	一般	1人	640円	640円																																																																						
		小中学生	1人	360円	360円																																																																						
使 用 料	茶室		1時間	700円	700円																																																																						
	1階	展示室	1時間	1,800円	1,800円																																																																						
		会議室	1時間	500円	500円																																																																						
	2階	研修室	1時間	350円	350円																																																																						
		展示室	1時間	1,400円	1,400円																																																																						
	全館		1時間	4,000円	4,000円																																																																						
<p>(3) 維持管理業務（清掃・保守点検・警備等）の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等</p>	<p>清掃について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内外の清掃を毎日実施します。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒作業を徹底します。 <p>保守点検について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内外の見回りを毎日実施します。 ・年間2回の消防及び避難訓練を実施します。 <p>警備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間など職員不在時は、警備会社へ委託し、有事に備えます。 																																																																										

6 盆梅展の運営等

<p>(1) 長浜市の花であり、地域の文化でもある盆梅の認知度を高めるための取り組みを掲示してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元小学生や中学生を対象とした講座を実施し、地域の伝統文化としての認知度をあげていきます。 ・本会会員及び長浜市やびわこビジターズビューロー等の外部団体と連携した情報発信や観光PRを実施します。 ・若年層及び外国人観光客へ公式ホームページや公式SNSで情報発信を行い、誘客に努めます。 ・ポスターやのぼり旗などのPRツールを最大限活用し、認知度の向上に努めます。 ・多言語PR動画を活用して、国内外への誘客に努めます。 ・年間通じた盆梅管理体験を企画し、今後は参加者を中心とした盆梅友の会の結成を目指します。
<p>(2) 盆梅展に観光客を誘客するための取り組みを掲示してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本会会員宿泊施設や黒壁スクエアなど人が多く見込める場所に、盆梅を展示します。盆梅展を認知していない観光客を対象に、盆梅に興味を持たすことができ、新規の観光客を誘致します。 ・公式ホームページや公式SNSで国内外への情報発信を行います。 ・体験型観光の一環として、年間通じて盆梅管理体験などを実施することで、滞在時間延伸と満足度向上を図ります。 ・「大阪万博記念公園」や「北野天満宮」など、集客が見込める京阪神地域での継続した出張展示及び観光PRを実施して集客を図ります。

7 盆梅の育成及び管理等

<p>(1) 展示できる盆梅へ育成するための取り組みについて掲示してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈された梅を年間通じて管理しています。今後は、個人宅で育てている梅の樹を管理することが困難になり処分する家庭が増えると思定され、寄贈される梅も減ってくると思われます。そこで、種から育て100年先の盆梅展を見据えた盆梅管理に取り組み始めています。 ・本会が管理している梅の品種は、外国産の希少品種を含め約350品種です。そのため、約2カ月間に渡る盆梅展期間中、早咲きから遅咲きまで多種多様バリエーションに富んだ盆梅を楽しんでいただけます。今後は、希少品種や珍種を入手し、100年先の盆梅展を見据えた盆梅展示に努めます。
<p>(2) 盆梅の管理育成にかかる経費削減のための取り組みについて掲示してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のできる作業については、委託を減らし直営で実施することで、経費節減に繋がります。 ・管理に使用する肥料などの必要資材は、年間必要分を一括で購入することで単価を下げ、経費削減に繋がります。

8 その他【審査基準：条例第4条第4号】

<p>(1) 利用者の個人情報 を保護するための取 組</p>	<p>・個人情報は、厳重に管理し、定期的にシュレッターで処分します。</p>
<p>(2) 施設の管理運営に おける環境に配慮し た取組</p>	<p>・使用するレジ袋はバイオマス袋に移行します。 ・照明やエアコンによる消費電力の削減を実施します。</p>
<p>(3) 防災、防犯その他 緊急時（災害・事故 等）の対応及び危機 管理体制</p>	<p>【開館時】 担当職員 →①警察・消防など関係機関へ連絡 →②事務局(専務理事・事務局長)へ連絡→会長及び役員へ連絡 →③関係職員へ連絡 【閉館時】 委託先警備会社 →担当職員 →①警察・消防など関係機関へ連絡 →②事務局(専務理事・事務局長)へ連絡→会長及び役員へ連絡 →③関係職員へ連絡</p>
<p>(4) 同様・類似の業務 の実績等</p>	<p>慶雲館 平成16年4月～平成20年3月4年間 長浜市からの業務委託 平成26年4月～平成29年3月3年間 長浜市からの指定管理業務 平成29年4月～令和3年3月5年間 長浜市からの指定管理業務 長浜鉄道スクエア 昭和58年4月～平成22年3月27年間 長浜市からの業務委託 平成22年4月～平成25年3月3年間 長浜市からの指定管理業務 平成25年4月～平成30年3月5年間 長浜市からの指定管理業務 平成30年4月～令和4年3月 5年間 長浜市からの指定管理業務 (予定)</p>

9 自由提案【審査基準：条例第4条第2号及び第5号】

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいこと

- ・歴史的に重要な関わりをもつ施設「長浜鉄道スクエア」と連携し、長浜の文化観光施設として重要な場所であることをPRします。
- ・剪定した枝は、燃料化やチップ化などリサイクルに活用する方法が研究され、実施されています。今後は、剪定枝のリサイクル方法を見出すため、地元大学である長浜バイオ大学や盆梅培養苗の開発で交流のある住友林業株式会社と連携し、実現に向けて調査研究を行います。

事業計画書

1 管理運営についての基本方針等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の管理運営についての基本方針を提示してください。

慶雲館は、明治20年の明治天皇京都行幸の際に、当時の豪商、浅見又蔵により行在所として建てられ、その後、政府高官や皇族などを迎える迎賓館として活用されてきました。「慶雲館」という名称は、当時の総理大臣である伊藤博文の命名と伝えられています。明治45年には、七代目小川治兵衛により本庭が作庭されました。上記のような、重要な歴史的背景をもつ本施設は、長浜を代表する文化的資源であり、後世にその価値を伝承すべきと考えます。この文化施設を市民に周知すること、さらに磨きをかけて観光客に供することは、長浜の文化観光事業として重要であり、大変意義のあることだと考えています。

当会では、平成26年から、8年間に渡り慶雲館の指定管理業務を受託しており、通年公開時と盆梅展期間の運営を行っています。また、20年以上にわたり、長浜市が保有する盆梅の管理育成を受託しています。この経験と知識を活かし、「慶雲館」を国内はもとより、海外からの来館者を増やすこと、またその文化的価値を高めることを目的に、情報発信と来館者の満足度向上を高める企画運営を行います。そのために、当会のネットワークを活用し、委託元である長浜市や、観光協会会員、外部団体、市内外の観光施設等との連携を図り、管理運営にあたってまいります。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症により観光業は大きな打撃を受けています。今後の旅行は、「安心・安全な行先の選択」や団体旅行から個人旅行へのシフト、また、近場へのマイクロツーリズムなどが主流となると考えます。慶雲館を管理運営するにあたり、社会情勢を鑑み、安心・安全を心掛けた運営や、個人向け観光に向けた満足度の高い企画等を実施してまいります。

(2) 指定管理者を希望する理由・目的を提示してください。

長浜観光協会は、これまで行政や民間と連携をとり、長浜の観光事業を担ってまいりました。また、慶雲館を代表する催事である「長浜盆梅展」の開催のため、専門の職員を2名雇用しており、年間通じて盆梅の管理育成をおこなっております。20年以上にわたる管理経験の技術や、様々な外部団体とのネットワークを通して、さらなる盆梅展の魅力向上が可能であると自負しています。

また、慶雲館の向かいにある「長浜鉄道スクエア」は長期に渡り、当会が管理運営をしており、両施設を管理することで、連携した企画展などを図ることができ、相乗効果を得ることが出来ます。以上のことから、指定管理業務を希望します。

(3) 施設の課題とその対応について提示してください。

長浜盆梅展は、長浜を代表する催事です。昨今では入館者5万人前後を推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり大きく来館者が減少しています。

今後の旅行スタイルは、団体から個人へ移行し、また近場を選ぶマイクロツーリズムや、質の高い観光が求められます。慶雲館や盆梅展でも、近年若年層の誘致を目的に、京都芸術大学や切り絵作家早川鉄兵氏とのコラボレーションや、本館の一部レイアウト変更など「インスタ映え」を意識した展示方法を取り入れています。今後も時代にあった展示や、公式SNSを通じての集客など若年層を中心に誘客を図ります。また、施設や盆梅を活用した体験講座を企画し、滞在時間が長くより魅力的な質の高い観光への移行を図ります。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

2 組織体制・職員配置等【審査基準：条例第4条第4号】

(1) 管理運営の組織体制を提示してください。

慶雲館管理及び盆梅管理のため、現場責任者として館長を配置します。また、施設管理及び盆梅管理として主事及び施設管理などの管理人を配置します。加えて、企画展等の準備や貸館受付などの支援体制として、事務局に事務責任者として事務局長や主事及び事務員を配置します。

(2) 管理運営に係る職員配置及び今後の採用計画を提示してください。

役職	担当業務内容	資格・能力等	雇用形態	勤務形態
事務局長	管理運営の事務責任者		正規	随時
館長	管理運営及び盆梅管理の現場責任者	甲種防火管理者	正規	通常勤務 8:30-17:15
主事	施設及び盆梅管理	甲種防火管理者	正規	通常勤務 8:30-17:15
主事	管理運営の事務処理		正規	随時
事務職員	経理及び庶務		非正規	随時
管理 (8名)	受付 庭園維持管理 館内外清掃 来館者対応		非正規	常時2名 1名は 8:45-17:15 1名は 9:00-17:00

(職員の採用計画)

施設管理などの職員は、年齢制限を設けていることから、退職などによる欠員が出る場合には、必要に応じて雇用します。

(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等を提示してください。

- ・他地域の文化施設や美術館等に現地視察をし、展示方法やイベント運営の参考だけでなく、受付や運営スタッフのおもてなしなども研修することで、施設全体のサービス向上に努めます。
- ・施設や盆梅展の効果的な情報発信を実施するため、写真撮影の技術や Instagram などの公式 SNS を有効に活用するためのセミナーを受講します。
- ・梅に精通した専門家や盆栽に関する講座を受講するなど、さらに盆梅管理に関わる知識を向上させるための研修を実施します。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

3 利用促進等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1)施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特色を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標を提示してください。

企画展や貸館など様々な情報を、年間を通じて公式ホームページや公式SNSにより情報発信し、利用促進に繋げていきます。

■慶雲館について

- ・令和8年2月21日は、慶雲館建設140年にあたります。これを記念して慶雲館や長浜の歴史を振り返る「140周年記念企画展」を開催します。
- ・長浜盆梅展のほか、平成27年度から開催している「長浜さつき盆栽展」の認知度も高まっており、また春には桜盆栽の展示を行っています。今後は、四季折々の盆栽や花の展示を企画開催します。
- ・慶雲館の庭園は、七代目小川治兵衛作庭の名勝庭園です。小川治兵衛作庭には、他に京都の無鄰庵、平安神宮神苑、円山公園などがあり、これらの施設と連携を図り、企画展やキャンペーン等を実施します。
- ・明治時代に建てられた歴史的文化建造物である慶雲館本館で、会議やイベント、レセプションなどのユニークメニューを開催して、利用促進や認知度の向上を図ります。
- ・ホームページでは、貸館の情報について掲載しています。今後は、活用方法を写真入りで掲載するなどわかりやすく紹介し、利用率の向上を図ります。また、公式SNSを活用し、ユーザーに直接届く情報発信に努めます。
- ・市内業者を中心に、結婚式の前撮り撮影での利用が増えています。今後は、市内外のフォトスタジオや結婚式場などへの営業活動を行い、利用率の向上を図ります。また、前撮りに限らず、七五三や成人式などの記念撮影での貸館利用の向上に努めます。

■盆梅展について

- ・年間通じた盆梅管理の体験講座を企画し、滞在時間の延伸や、盆梅展の情報発信を行います。
- ・市内宿泊施設や黒壁スクエアなど人が集まる場所に、管理に留意し盆梅を展示します。長浜盆梅展を認知していない観光客も多数おられます。そのために、宿泊施設や観光施設に配置することで、盆梅に興味をもっていただくことができ、新規観光客の誘致に繋がります。
- ・近年は、PRを目的に「大阪天満宮」、「大阪万博公園」、「ここ滋賀」などで盆梅の出張展示を行っています。今後も、上記に加え「北野天満宮」など、盆梅展の来館層にあった人が多い場所での出張展示を継続して実施します。また、新たに展示出来る場所を開拓し誘致に繋がります。
- ・報道関係者や旅行会社に積極的に情報発信や営業を行い、長浜盆梅展の認知度の向上を図ります。
- ・盆梅展会場については、毎年レイアウトに変化をつけるなど魅力度の向上に努めていきます。今後も、芸術家や大学と連携して、魅力ある盆梅展会場に努めます。
- ・盆梅展期間中には、俳句イベントやフォトコンテスト、盆梅づくり体験など様々な催しを企画し、満足度の向上に努めています。
- ・期間を通して、複数回来場希望の方を対象とした「回数券」及び「フリーパス」などを販売することで、利用促進に繋がります。

- ・市民の方を対象とした無料券を配布することで、市民に親しみをもってもらい、長浜盆梅展の認知度向上に努めます。
- ・令和3年度から盆梅展会場の観光物産販売を当会で直接管理することとなり、お茶席と物産エリアを一体化することで、満足度の向上に繋がります。

【達成目標】

年度	利用者数	積算根拠
令和4年度	通年公開：14,500人 盆梅展：32,000人	第2期長浜市観光ビジョンの目標来訪者数から今後5年間の人数を算出。
令和5年度	通年公開：15,000人 盆梅展：34,000人	
令和6年度	通年公開：15,500人 盆梅展：36,000人	
令和7年度	通年公開：16,000人 盆梅展：38,000人	
令和8年度	通年公開：16,500人 盆梅展：40,000人	

(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策を提示してください

(ア) 慶雲館通年公開

本会会員や市内の団体と連携し、企画展の開催やユニークメニューの展開など、地域の情報発信拠点にしていきます。

(イ) 盆梅展

盆梅展は、今年度で71回目を迎える長浜市を代表する歴史ある催事であり、この文化は、次世代に継承すべきものだと考えます。このことから、教育委員会を通じて、地元小学生や中学生を対象とした講座を開催し、盆梅の素晴らしさを伝えていきます。また、地域の方々や地元ボランティアガイドなどにも魅力を伝える講座を実施します。

(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組を提示してください。

(ア) 慶雲館通年公開

- ・現在運営している慶雲館の公式ホームページや公式SNSをさらに活用し、企画展など多くの情報を発信します。また、市内の観光施設との連携を図りPRの場を増やしていきます。
- ・長浜観光協会は、浪漫パスポート事業を運営しています。そのため、浪漫パスポート参画施設との連携が図りやすいと考えています。このことから、施設間での共同企画展を開催し、情報発信に繋がります。

(イ) 盆梅展

- ・体験型観光の一環として、年間通じた盆梅管理体験を企画し、今後は参加者を中心とした盆梅友の会の結成を目指します。
- ・現在運営している盆梅展の公式ホームページや公式SNSをさらに活用し、若年層への情報伝達を図ります。また、本会の宿泊業及び飲食業など観光事業に精通した会員と連携して、情報発信や観光PRに努めます。加えて、長浜市

やびわこビジターズビューローなどとも連携することで、県内外での観光PRを実施します。

- ・盆梅展のPRポスターやリーフレットを作成し、JR各駅や市内外施設での掲示の他、地元自治会発送をおこない、認知度向上に努めます。また、のぼり旗やタペストリーも作製し、市内各所や観光PR時に掲出します。
- ・地元新聞社をはじめ、ウェブ媒体やメディアへの情報提供をおこない、宣伝活動に努めます。また、ターゲットとする年代や地域を限定したSNS広告の利用により、効果的な広告掲載を検討します。

(4) 他の観光施設と連携した取組の予定があれば提示してください。

慶雲館の向かいに建つ「長浜鉄道スクエア」は、本会が長期に渡り、指定管理業務を受託している施設です。この2施設は、明治期に建てられた歴史的に深い関係を持つ建造物であり、連携した企画展を実施し、相乗効果を図ります。

また、盆梅展開催時期には、来場者が多く見込める「大阪万博記念公園」や「北野天満宮」で盆梅を展示することで、京阪神地域でのPR活動につなげます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

4 サービス向上等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 利用者等からのニーズの把握方法を提示してください。

現在盆梅展では、来館者アンケートをとるため、館内に用紙設置に加えて、スマートフォンから回答できるような仕組みづくりをしています。継続して実施することにより、来館者の分析やニーズの把握に努めます。

また、長浜ボランティアガイド協会とも連携し、黒壁スクエアなど観光客が多く見込める地域でアンケートを実施することにより、ニーズの把握に努めます。

(2) 利用者等からの苦情等に対する対応について提示してください。

苦情の大小にかかわらずお話を伺い、丁寧な説明をし、理解を得られるようにします。苦情対応後については、改善すべきことは早急に対応するほか、再発防止を徹底します。

(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組について提示してください。

回答のあったアンケート結果を踏まえ、改善点を本会で協議し、改善に努めていきます。また、他施設での展示状況や接客対応などを視察し、サービスの向上に努めます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

5 施設の管理運営等【審査基準：条例第4条第3号及び第4号】

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組について提示してください。

- ・館内の照明を使用しない時は、小まめに消灯します。また、夏季はエアコンを適正温度で一定に保つことにより、必要以上に電力を消費しないように徹底しています。今後も、同様に継続していきます。
- ・事務所での経費削減については、ペーパーレスを意識し、回覧資料をクラウドサーバーでの回覧機能を利用するなど、業務及び会議等での資料は最小限の出力枚数に抑えることを徹底します。
- ・照明や展示に使用するスポットライトを、計画的にLEDに切り替えることで電気代の節減に繋がります。

(2) 利用料金の設定及び設定根拠について提示してください。

区分			単位	観覧料及び使用料	利用料金(案)	
観 覧 料	慶 雲 館	個人	一般	1人	300円	300円
			小中学生	1人	150円	150円
		団体 (20人以上)	一般	1人	240円	240円
			小中学生	1人	120円	120円
	盆 梅 展	個人	一般	1人	800円	800円
			小中学生	1人	400円	400円
団体 (15人以上)		一般	1人	640円	640円	
		小中学生	1人	360円	360円	
使 用 料	茶室			1時間	700円	700円
	梅 の 館	1階	展示室	1時間	1,800円	1,800円
			会議室	1時間	500円	500円
		2階	研修室	1時間	350円	350円
			展示室	1時間	1,400円	1,400円
	全館			1時間	4,000円	4,000円

(利用料金の設定根拠)

長浜市条例に基づく料金設定です。

(3) 維持管理業務(清掃・保守点検・警備等)の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等について提示してください。

■清掃について

- ・受付業務及び管理業務者が、館内及び館外の掃除を毎日実施します。
- ・営業時間中は、新型コロナウイルス感染症の観点から、定期的に館内の消毒作業を実施します。

■保守点検について

- ・出勤時及び退勤前に、館内外の見回りを実施します。
- ・年間2回の消防及び避難誘導訓練を実施します。

■警備について

- ・夜間などの職員不在時は、警備会社に委託し、有事に備えます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙(A4版)を作成してください。

6 盆梅展の運営等

- (1) 長浜市の花であり、地域の文化でもある盆梅の認知度を高めるための取組を提示してください。
 - ・地元小学生や中学生を対象とした講座を開催し、長浜市を代表する伝統文化としての認知度を上げていきます。
 - ・長浜市やびわこビジターズビューロー及び本会会員との連携から、県内外で観光PRを実施し、認知度の向上を目指します。
 - ・公式ホームページや公式SNSを活用して、若年層及び外国人への認知度の向上を目指します。
 - ・盆梅展のポスターやリーフレット及びのぼり旗、タペストリーなどのPRグッズを作成し、JR各駅や市内外施設での掲示の他、観光PR時に掲出し認知度の向上を目指します。
 - ・地元新聞社をはじめ、ウェブ媒体やメディアへの情報提供をおこない、宣伝活動に努めます認知度の向上を図ります。
 - ・体験型観光の一環として、年間通じた盆梅管理体験を企画し、今後は参加者を中心とした盆梅友の会の結成を目指します。
- (2) 盆梅展に観光客を誘客するための取組を提示してください。
 - ・本会会員の宿泊施設及び黒壁スクエアなど人が多く見込める場所で、盆梅を展示することにより、盆梅展を認知していない観光客を誘致します。
 - ・公式SNSを活用して国内外への情報発信を強化します。
 - ・体験型観光の一環として、年間通じて盆梅管理体験などを実施することにより、満足度の向上を図ります。
 - ・「大阪万博公園」や「北野天満宮」など、集客が見込める京阪神地域での継続した出張展示及び観光PRを実施して集客を図ります。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

7 盆梅の育成及び管理等

- (1) 展示できる盆梅へ育成するための取組について提示してください。

現在は、既存の盆梅に加え、市内の方を中心に、全国から寄贈された梅を展示用に、年間通じて管理しています。しかしながら、この先、年齢などにより梅の樹を管理することが困難になることで処分する家庭が増えてくると想定しています。そのため、寄贈される梅も今後減ってくることが想定されます。そこで、種から育て100年先の盆梅展を見据えた盆梅管理に取り組んでいます。

本会が管理している梅の品種は、外国産の希少品種なども含め約350品種となりました。そのため、約2カ月間に渡る盆梅展期間中、早咲きから遅咲きまで多種多様なバリエーションに富んだ盆梅を楽しんで頂けます。今後は、希少品種や珍種を入手し、100年先を見据えた展示に努めます。
- (2) 盆梅の管理育成にかかる経費節減のための取組について提示してください。
 - ・職員でできる作業については、委託を減らし直営で実施することで、経費節減に繋がります。
 - ・管理に使用する肥料、殺虫剤などは、年間必要分を一括で購入することで単価を下げ、経費削減に繋がります。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

8 その他

- (1) 利用者の個人情報保護のための取組を提示してください。
アンケートをはじめ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から記載いただいた連絡先記入用紙は、鍵のかかる場所で厳重に保管し、保管期間が過ぎたものはシュレッターで処理します。
- (2) 施設の管理運営における環境に配慮した取組を提示してください。
- ・物品販売で使用する袋は、環境に影響を与えにくいバイオマスを利用している袋を使用しています。
 - ・館内の照明は、必要最低限の点灯にすることやLED照明の使用、エアコンを適正温度に保つことで必要以上の電力を使用しないように努めます。
 - ・盆梅展期間中は、靴入れ用のレジ袋を配布しています。今後は、バイオマスを利用している袋にシフトし、環境に配慮した運営を実施します。
- (3) 防災、防犯その他緊急時（災害・事故等）の対応及び危機管理体制について提示してください。
- 開館時
担当職員→①警察・消防など関係機関へ連絡
②事務局（専務理事・事務局長）へ連絡→会長及び役員へ連絡
③関係職員へ連絡
- 閉館時
委託先警備会社
→担当職員→①警察・消防など関係機関へ連絡
→②観光協会（専務理事・事務局長）へ連絡→会長及び役員へ連絡
→③関係職員へ連絡
- (4) 同様・類似の業務の実績等があれば、記入してください。
- 慶雲館
- | | | |
|-----------------|-----|--------------|
| 平成16年4月～平成20年3月 | 4年間 | 長浜市からの業務委託 |
| 平成26年4月～平成29年3月 | 3年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 平成29年4月～令和3年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
- 長浜鉄道スクエア
- | | | |
|-----------------|------|------------------|
| 昭和58年4月～平成22年3月 | 27年間 | 長浜市からの業務委託 |
| 平成22年4月～平成25年3月 | 3年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 平成25年4月～平成30年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務 |
| 平成30年4月～令和4年3月 | 5年間 | 長浜市からの指定管理業務(予定) |

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

9 自由提案

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいことがあれば、記入してください。(例：女性・若者の参画、資材等の地元調達など)

- ・歴史的に重要な関わりをもつ施設「長浜鉄道スクエア」と連携し、長浜の文化観光施設として重要な場所であることをPRします。
- ・盆梅の管理育成で、剪定した枝は現在処分しています。専門機関によると、燃料化やチップ化などリサイクルに活用する方法が研究され、実際に実施されています。盆梅展の剪定枝のリサイクル方法を見出すため、地元大学である長浜バイオ大学や盆梅培養苗の開発で交流のある住友林業株式会社と連携し、実現に向けて調査研究を行っていきます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください

様式第3号

収支計画書（総括表）

1 収入

（単位：千円）

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計
指定管理料	8,912	8,912	8,912	8,912	8,912	44,560
慶雲館使用料	800	800	850	850	900	4,200
慶雲館観覧料	2,900	2,960	3,020	3,080	3,140	15,100
盆梅展観覧料	18,240	19,380	20,520	21,660	22,800	102,600
その他の収入	0	0	0	0	0	0
小計（指定管理業務）	30,852	32,052	33,302	34,502	35,752	166,460
自主事業収入	0	0	0	0	0	0
合計	30,852	32,052	33,302	34,502	35,752	166,460

2 支出

科目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	
慶雲館管理費	人件費	14,900	14,900	15,470	16,040	16,610	77,920
	維持管理費	4,145	4,555	4,615	4,915	4,965	23,195
	修繕費	200	210	210	260	260	1,140
	計	19,245	19,665	20,295	21,215	21,835	102,255
盆梅展開催事業費	人件費	1,500	1,700	1,900	2,000	2,200	9,300
	盆梅展開催費	9,477	10,057	10,477	10,557	10,937	51,505
	修繕費	100	100	100	100	100	500
	広告宣伝費	530	530	530	630	680	2,900
	計	11,607	12,387	13,007	13,287	13,917	64,205
租税公課	0	0	0	0	0	0	
小計（指定管理業務）	30,852	32,052	33,302	34,502	35,752	166,460	
自主事業費	0	0	0	0	0	0	
合計	30,852	32,052	33,302	34,502	35,752	166,460	

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
----	---------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	8,912	
慶雲館使用料	800	
慶雲館観覧料	2,900	14,500人×200円
盆梅展観覧料	18,240	32,000人×570円
その他の収入	0	
小計（指定管理業務）	30,852	
自主事業収入	0	
合計	30,852	

2 支出

科目	金額	積算根拠等		
慶雲館管理費	人件費	14,900	事務局、管理人、受付、盆梅管理	
	維持管理費	光熱水費	1,607	電気1320、ガス50、水道190、ガス灯30、灯油17
		通信運搬費	110	光回線
		賃借料	85	夜間金庫20、AED65
		保険料	8	施設所有者賠償責任保険
		委託料	1,820	企画展600、警備80、昇降機570、消防100、12条点検等
		消耗品費	290	施設管理120、企画展80、事務備品90
		印刷製本費	150	企画展チラシ、チケット等
		広告宣伝費	50	企画展広告
		手数料	25	夜間金庫手数料など
	計	4,145		
修繕費	200	ガス灯修繕など		
計	19,245			
盆梅展開催事業費	人件費	1,500	盆梅展チケット販売、靴袋バイト	
	盆梅管理・盆梅展開催費	旅費交通費	120	研修費、ゲスト出張費など
		通信運搬費	300	キャンペーン運搬費、チラシ発送など
		消耗品費	1,410	展示備品350、盆梅育成管理950、軽トラ30など
		印刷製本費	640	ポスター・チラシ300、パンフ・チケット250など
		賃借料	860	盆梅管理機器750、イベント会場費など
		諸謝金	20	竹囲い作成謝礼
		負担金	50	ワークショップなど
		委託料	4,970	シルバー2400、盆梅展設営1500、ホームページ420など
		手数料	72	木質廃棄50、振込手数料10、クリーニング10など
		工事請負費	60	チケット売り場配線工事
		報償費	600	イベント講師代、フォトコン・俳句景品など
		食糧費	50	ゲスト食事代
		燃料費	250	軽トラガソリン230、機材ガソリン20
	保険料	75	軽トラ	
計	9,477			
修繕費	100	軽トラ車検60、盆梅管理機器修理40		
広告宣伝費	530	盆梅展PR		
計	11,607			
租税公課	0			
小計（指定管理業務）	30,852			
自主事業費	0			
合計	30,852			

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
----	---------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	8,912	
慶雲館使用料	800	
慶雲館観覧料	2,960	14,800人×200円
盆梅展観覧料	19,380	34,000人×570円
その他の収入	0	
小計（指定管理業務）	32,052	
自主事業収入	0	
合計	32,052	

2. 支出

科目	金額	積算根拠等		
慶雲館管理費	人件費	14,900	事務局、管理人、受付、盆梅管理	
	維持管理費	光熱水費	1,607	電気1320、ガス50、水道190、ガス灯30、灯油17
		通信運搬費	120	光回線
		賃借料	85	夜間金庫20、AED65
		保険料	8	施設所有者賠償責任保険
		委託料	1,840	企画展620、警備80、昇降機570、消防100、12条点検等
		消耗品費	320	施設管理120、企画展100、事務備品100
		印刷製本費	500	入館パンフ250、企画展チラシ、チケットなど
		広告宣伝費	50	企画展広告
		手数料	25	夜間金庫手数料など
計	4,555			
修繕費	210	ガス灯修繕など		
計	19,665			
盆梅展開催事業費	人件費	1,700	盆梅展チケット販売、靴袋バイト	
	盆梅管理・盆梅展開催費	旅費交通費	150	研修費、ゲスト出張費など
		通信運搬費	300	キャンペーン運搬費、チラシ発送など
		消耗品費	1,420	展示備品350、盆梅育成管理950、軽トラ30など
		印刷製本費	650	ポスター・チラシ300、パンフ・チケット250など
		賃借料	860	盆梅管理機器750、イベント会場費など
		諸謝金	20	竹囲い作成謝礼
		負担金	60	ワークショップなど
		委託料	5,490	シルバー2500、盆梅展設営1800、ホームページ500など
		手数料	72	木質廃棄50、振込手数料10、クリーニング10など
		工事請負費	60	チケット売り場配線工事
		報償費	600	イベント講師代、フォトコン・俳句景品など
		食糧費	50	ゲスト食事代
		燃料費	250	軽トラガソリン230、機材ガソリン20
		保険料	75	軽トラ
計	10,057			
修繕費	100	軽トラ車検60、盆梅管理機器修理40		
広告宣伝費	530	盆梅展PR		
計	12,387			
租税公課	0			
小計（指定管理業務）	32,052			
自主事業費	0			
合計	32,052			

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
----	---------------------------

1 収入 （単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	8,912	
慶雲館使用料	850	
慶雲館観覧料	3,020	15,100人×200円
盆梅展観覧料	20,520	36,000人×570円
その他の収入	0	
小計（指定管理業務）	33,302	
自主事業収入	0	
合計	33,302	

2 支出

科目	金額	積算根拠等		
慶雲館管理費	人件費	15,470	事務局、管理人、受付、盆梅管理	
	維持管理費	光熱水費	1,607	電気1320、ガス50、水道190、ガス灯30、灯油17
		通信運搬費	120	光回線
		賃借料	85	夜間金庫20、AED65
		保険料	8	施設所有者賠償責任保険
		委託料	1,840	企画展620、警備80、昇降機570、消防100、12条点検等
		消耗品費	330	施設管理130、企画展100、事務備品100
		印刷製本費	550	入館パンフ250、企画展チラシ、チケットなど
		広告宣伝費	50	企画展広告
		手数料	25	夜間金庫手数料など
計	4,615			
修繕費	210	ガス灯修繕など		
計	20,295			
盆梅展開催事業費	人件費	1,900	盆梅展チケット販売、靴袋バイト	
	盆梅管理・盆梅展開催費	旅費交通費	150	研修費、ゲスト出張費など
		通信運搬費	300	キャンペーン運搬費、チラシ発送など
		消耗品費	1,480	展示備品360、盆梅育成管理950、軽トラ30など
		印刷製本費	700	ポスター・チラシ300、パンフ・チケット300など
		賃借料	860	盆梅管理機器750、イベント会場費など
		諸謝金	20	竹囲い作成謝礼
		負担金	60	ワークショップなど
		委託料	5,800	シルバー2550、盆梅展設営2000、ホームページ500など
		手数料	72	木質廃棄50、振込手数料10、クリーニング10など
		工事請負費	60	チケット売り場配線工事
		報償費	600	イベント講師代、フォトコン・俳句景品など
		食糧費	50	ゲスト食事代
		燃料費	250	軽トラガソリン230、機材ガソリン20
		保険料	75	軽トラ
計	10,477			
修繕費	100	軽トラ車検60、盆梅管理機器修理40		
広告宣伝費	530	盆梅展PR		
計	13,007			
租税公課	0			
小計（指定管理業務）	33,302			
自主事業費	0			
合計	33,302			

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）
----	---------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	8,912	
慶雲館使用料	850	
慶雲館観覧料	3,080	15,400人×200円
盆梅展観覧料	21,660	38,000人×570円
その他の収入	0	
小計（指定管理業務）	34,502	
自主事業収入	0	
合計	34,502	

2 支出

科目	金額	積算根拠等		
人件費	16,040	事務局、管理人、受付、盆梅管理		
慶雲館管理費	維持管理費	光熱水費	1,607	電気1320、ガス50、水道190、ガス灯30、灯油17
		通信運搬費	120	光回線
		賃借料	85	夜間金庫20、AED65
		保険料	8	施設所有者賠償責任保険
		委託料	1,870	企画展650、警備80、昇降機570、消防100、12条点検等
		消耗品費	450	施設管理150、企画展150、事務備品150
		印刷製本費	650	入館パンフ250、企画展チラシ、チケットなど
		広告宣伝費	100	企画展広告
		手数料	25	夜間金庫手数料など
		計	4,915	
修繕費	260	ガス灯修繕など		
計	21,215			
人件費	2,000	盆梅展チケット販売、靴袋バイト		
盆梅展開催事業費	盆梅管理・盆梅展開催費	旅費交通費	150	研修費、ゲスト出張費など
		通信運搬費	300	キャンペーン運搬費、チラシ発送など
		消耗品費	1,490	展示備品370、盆梅育成管理950、軽トラ30など
		印刷製本費	700	ポスター・チラシ300、パンフ・チケット300など
		賃借料	860	盆梅管理機器750、イベント会場費など
		諸謝金	20	竹囲い作成謝礼
		負担金	80	ワークショップなど
		委託料	5,850	シルバー2600、盆梅展設営2000、ホームページ500など
		手数料	72	木質廃棄50、振込手数料10、クリーニング10など
		工事請負費	60	チケット売り場配線工事
		報償費	600	イベント講師代、フォトコン・俳句景品など
		食糧費	50	ゲスト食事代
		燃料費	250	軽トラガソリン230、機材ガソリン20
		保険料	75	軽トラ
計	10,557			
修繕費	100	軽トラ車検60、盆梅管理機器修理40		
広告宣伝費	630	盆梅展PR		
計	13,287			
租税公課	0			
小計（指定管理業務）	34,502			
自主事業費	0			
合計	34,502			

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年度	令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）
----	---------------------------

1 収入 （単位：千円）

科目	金額	積算根拠等
指定管理料	8,912	
慶雲館使用料	900	
慶雲館観覧料	3,140	15,700人×200円
盆梅展観覧料	22,800	40,000人×570円
その他の収入	0	
小計（指定管理業務）	35,752	
自主事業収入	0	
合計	35,752	

2 支出

科目	金額	積算根拠等		
人件費	16,610	事務局、管理人、受付、盆梅管理		
慶雲館管理費	維持管理費	光熱水費	1,607	電気1320、ガス50、水道190、ガス灯30、灯油17
		通信運搬費	120	光回線
		賃借料	85	夜間金庫20、AED65
		保険料	8	施設所有者賠償責任保険
		委託料	1,870	企画展650、警備80、昇降機570、消防100、12条点検等
		消耗品費	500	施設管理200、企画展150、事務備品150
		印刷製本費	650	入館パンフ250、企画展チラシ、チケットなど
		広告宣伝費	100	企画展広告
		手数料	25	夜間金庫手数料など
計	4,965			
修繕費	260	ガス灯修繕など		
計	21,835			
人件費	2,200	盆梅展チケット販売、靴袋バイト		
盆梅展開催事業費	盆梅管理・盆梅展開催費	旅費交通費	150	研修費、ゲスト出張費など
		通信運搬費	300	キャンペーン運搬費、チラシ発送など
		消耗品費	1,570	展示備品400、盆梅育成管理950、軽トラ30
		印刷製本費	700	ポスター・チラシ300、パンフ・チケット300など
		賃借料	860	盆梅管理機器750、イベント会場費など
		諸謝金	20	竹囲い作成謝礼
		負担金	80	ワークショップなど
		委託料	6,150	シルバー2650、盆梅展設営2200、ホームページ500など
		手数料	72	木質廃棄50、振込手数料10、クリーニング10など
		工事請負費	60	チケット売り場配線工事
		報償費	600	イベント講師代、フォトコン・俳句景品など
		食糧費	50	ゲスト食事代
		燃料費	250	軽トラガソリン230、機材ガソリン20
		保険料	75	軽トラ
計	10,937			
修繕費	100	軽トラ車検60、盆梅管理機器修理40		
広告宣伝費	680	盆梅展PR		
計	13,917			
租税公課	0			
小計（指定管理業務）	35,752			
自主事業費	0			
合計	35,752			

注 事業年度ごとに記入してください。